

エコパスポートによる観光振興(北海道弟子屈町)

事例の概要(事業名:弟子屈2daysエコパスポート)

地域公共交通の活性化を図るため、弟子屈町地域公共交通活性化協議会が夏期と冬期の**観光シーズンに実施**。

町内の既存路線バス・臨時運行バス及び**JRの2日間乗り放題切符(弟子屈2daysエコパスポート)**の事業費の一部を支援するもの。



バス:BDF燃料使用
→CO2削減

事例の内容

○利用者数(H22年度):2,612名(前年度比16%増)

事業内容

弟子屈2daysエコパスポートの事業費の一部を補助

総事業費

平成22年度 7.3百万円
(うち過疎債 7.2百万円)

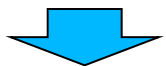
事業効果

- 生活交通と観光交通との連携
- 環境負荷への軽減
- 観光業への新たな活力
- 地域公共交通の活性化・再生への取組が評価され、国土交通大臣表彰を受賞

ポイント

○背景

- ・観光地であるため、来訪車両から受ける環境プレッシャーが大きな課題(年間100万人を超える観光客及び20万台以上の来訪車両)
- ・バス、JRの利用者数は減少傾向



公共交通機関で観光できる環境の形成

- **観光客目線に立った受け入れ態勢の確立**
- **環境負荷の軽減、バス・JRの利用者数増、観光業への新たな活力**



- ・バス路線の再編、JRと連携したダイヤの作成
- ・1枚のパスでバス、JR、レンタサイクル利用可